

御 案 内

ほう お ん こ う ほう よ う

し ん ら ん し ょ う に ん

親鸞聖人 報恩講法要

(760回忌法要)

※コロナ対策をしまして、開座します!!

◇ 講 師 本願寺派布教使
福間 義朝 師 (広島県三原市 教専寺)

日 時	昼 席
11月25日(木)	15時～16時30分
11月26日(金)	15時～16時30分

※いつもと時間が違います。お間違えのないようお願い申し上げます。

【次第】

1. お勤め
2. 法 話 (仏さまのお話を聞きます＝お聴聞)

※コロナ対策として

消毒設置、換気、マスクの着用、時間短縮等に対応します。

※参拝時は、お念珠をご持参ください。(お経本、式章をお持ちの方は、あわせてご持参ください。)

※ご仏前は、受付にお預けください。

ほう お ん こ う ほう よ う

～報恩講法要とは～

報恩講法要は、宗祖・親鸞聖人の遺徳をたたえ、その恩に報ずる法要である。親鸞聖人は、阿弥陀如来の本願(「必ず救う、われにまかせよ。お浄土に生まれさせ、仏にならしめん」)の教えを明らかにされ、その九十年のご生涯を、お念仏(南無阿弥陀仏)の道ひとすじに歩まれました。

今ここに、私たちが、浄土真宗の救いのよろこびにあえたことも、親鸞聖人のご苦勞のたまものであります。浄土真宗では、お聴聞(仏法を聞く)が大切です。どうぞお寺の本堂で、親鸞聖人が明らかにされた、阿弥陀さまのおこころ(南無阿弥陀仏)を、共々にお聞かせいただきましょう。

“お念仏ととも的人生は、おかげさまと生かされて、ありがとうと生き抜く人生です。”

どうぞ、お参りくださいますよう、ご案内申し上げます。

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 千部山 真 教 寺

〒811-1222 那珂川市下梶原 2-8-1

電 話 092-952-2429